

## 6月定例会

# 一般質問

6月定例会では14人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

■QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンにも対応。通信料は別途発生します。)

また、6月定例会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、下記の取り組みを行いました。

- 会議出席者は全員マスクを着用
- 議場に入室する際の手指消毒の徹底
- 議員の一般質問終了の都度、換気を実施し消毒液で清拭
- 3密を避けるため執行部の説明員を最小限にして席の間隔を空ける
- 傍聴席を約8割減に

今後も、第2波・第3波が想定されることから、新たな局面に備え対策を講じていきます。



執行部席：説明員を最小限に



傍聴席：ソーシャルディスタンスを確保



入室時の手指消毒を徹底

## 聴覚(難聴)障がい児について

清和クラブ  
松林 彰



**問** 市内の聴覚(難聴)障がい児の就学前・就学後における現状及び支援状況は。また、岐阜県ではようやく本年1月に難聴児支援についての実務会議が始まったが、現時点ではまだ方向性が決まっていない状況である。どのような課題があり、どう支援するのか、市の取組状況は。

**答** 市内の難聴児は、平成31年度末で14人。県内に難聴児専門の療育機関が1つしかないことに加え、対象者が少ないうえに専門性が高いため難聴についての理解・知識のある方が少ないことなどの課題を共有し、飛騨地域での療育支援の充実について要望していく。



## オンライン学習の環境整備とタブレット端末の児童生徒1人1台導入を

清和クラブ  
車戸 明良



**問** 緊急時(臨時休校等)における家庭でのオンライン学習の環境整備や、タブレット端末の児童生徒1人1台の導入を進める計画は。それを活用し学校規模に応じた教員と児童生徒がオンラインで交流し、緊急時の家庭学習環境を向上するよう整備できないか。

**答** 回線の容量不足もあり、現状では全市で一斉のオンライン学習は困難な状況だが、学校規模に応じて教職員と児童生徒がオンライン交流できないか検討する。タブレット端末は約2,400台を10月頃に導入できるよう準備。残りは中学3年生を優先し全児童生徒に早期に順次導入する。

